

2019年度拠点間連携共同研究【重点推進研究】採択一覧

課題番号	提案内容のタイトル	研究代表者		担当教員	報告書
		氏名	所属機関		
2019-K-1-1 「巨大地震のリスク評価の不確実性に関するパラダイム構築の推進」	シナリオ・手法の組み合わせにより変化する災害リスクの理解支援システムの開発	牧 紀男	京都大学 防災研究所	市村強 (東大・地震研) 松島信一 (京大・防災研)	報告書
	実験・観測データベースを用いた被害評価の精緻化	楠 浩一	東京大学 地震研究所		
	南海トラフ巨大地震の震源像と短周期波動伝播特性に関する研究	宮澤 理稔	京都大学 防災研究所		
	系統的な地震リスク評価プラットフォームの高度化	松島 信一	京都大学 防災研究所		
	地盤物性の不確実性を考慮した巨大地震時の地盤災害リスク評価	上田 恭平	京都大学 防災研究所		
	計算科学・計算機科学的な観点からのリスク解析手法の高度化	市村 強	東京大学 地震研究所		
	強震動による斜面土砂災害発生位置と被害到達範囲予測の高度化	齊藤 隆志	京都大学 防災研究所		
	南海トラフ巨大地震のリスク評価の高度化にむけた地殻構造の影響と強震動評価の研究	飯高 隆	東京大学 地震研究所		
	南海トラフにおける人工震源構造調査と自然地震観測から求められる地殻内地震波速度・減衰構造の統合的編集と精度の検討	望月 公廣	東京大学 地震研究所		
2019-K-1-2-1 「ばらつきのある被害リスク評価をふまえた防災計画の検討」	シナリオ・手法の組み合わせにより変化する災害リスクの理解支援システムの開発	牧 紀男	京都大学 防災研究所	牧紀男 (京大・防災研)	報告書
2019-K-1-2-2 「定常的地震活動の震源および地震波速度構造の精度向上による地震波動場推定の高度化」	スペクトル分離手法による海域の伝播経路特性と観測点サイト特性の把握	川瀬 博	京都大学 防災研究所	望月公廣 (東大・地震研)	報告書
	定常的地震活動の震源および地震波速度構造の精度向上による地震波動場推定の高度化	望月 公廣	東京大学 地震研究所		

2019年度拠点間連携共同研究(一般課題型研究)採択課題一覧

課題番号	研究課題名	研究代表者		報告書
		氏名	所属	
2019-K-01	不均質な断層すべり分布を考慮した津波の確率論的予測と不確実性の評価	佐竹 健治	東京大学 地震研究所	中間報告書
2019-K-02	強震観測点におけるサイト特性評価手法の開発に関する多国間共同研究 Multi-national joint-research on the development of the evaluation scheme for site characteristics at strong motion observation sites	川瀬 博	京都大学 防災研究所	報告書
2019-K-03	テフラの成層構造の発達と風化に伴う物性変化を考慮した斜面崩壊発生場の予測	松四 雄騎	京都大学 防災研究所	報告書
2019-K-04	強震動のブラインド予測のための共用地盤モデルの構築に関する研究	山中 浩明	東京工業大学 環境・社会理工学院	中間報告書
2019-K-05	火山砕屑物からなる斜面の崩壊に対する地震とその前後の降雨の影響評価	渦岡 良介	京都大学 防災研究所	中間報告書
2019-K-06	活断層における地殻変動に伴う盆地形成過程から推定される盆地端部での基盤構造を考慮した地震動増幅特性に関する研究	松島 信一	京都大学 防災研究所	中間報告書
2019-K-07	建物の応答を考慮した高精度地震情報配信手法の開発	倉田 真宏	京都大学 防災研究所	中間報告書
2019-K-08	地震発生 of 切迫性を伝える災害情報モデル構築 ～北海道胆振東部地震の主要被災3町(厚真・むかわ・安平)における人的被害に関する全世帯調査を通して～	岡田 成幸	北海道大学 大学院工学 研究院	報告書
2019-K-09	訪日外国人旅行者に対する地震・火山に関する情報提供と風評被害対策に関する事例分析 -2018年胆振東部地震、2018年大阪府北部地震、2018年草津白根噴火、2015年箱根山噴火を対象として-	秦 康範	山梨大学 大学院総合 研究部工学 域	報告書
2019-K-10	災害に備えた文化財等データベースの作成と防災マップの構築	蝦名 裕一	東北大学 災害科学国 際研究所	報告書